

平成25年度

予算編成方針を 定めました

予算の編成方針

当初予算は「準通年型」で編成
政策的経費は補正対応

東日本大震災は、全国に「安心・安全」に関する多くの課題と教訓を残しました。10月の国内景気の基調判断は、3か月連続で下方修正され、当面後退するとの認識であり、回復には厳しい状況にあります。市は、こうした社会情勢を的確に捉えながら、財政見通しを踏まえた中長期的な視点に立った持続可能な行財政運営に努めなければなりません。

市税については、全体として減少傾向と見込んでいます。また、旧合併特例法による地方交付税の優遇措置は、平成27年度から段階的に縮減され、平成32年度には、現在の交付額より約27・8億円の減少が見込まれます（旧近江町算定分は平成33年

度から）。歳出では、介護保険事業や下水道事業など特別会計への繰出額が高い水準で推移し、財政収支の見通しは、大変厳しい状況です。

市は、このような状況を踏まえながら、施策の基本方針に沿って、平成25年度の予算編成を行います。市民ニーズを的確に捉えながら、市が直面する行政課題を解決するため、徹底した現場主義の下、市の役割を十分認識し、計画的な事業を選択していく必要があります。各事業の評価に基づく見直しを行い、真に必要な行政サービスを見極め、メリハリのある予算編成を行います。

なお、当初予算は、平成25年2月に市長選挙が行われるため、「準通年型予算」として議会に提案し、市長選挙後に、政策的判断が必要とされる経費を補正予算として追加提案します。

施策の基本方針

平成25年度は、引き続き総合計画基本構想に掲げる将来像「自然きらめきひと・まちときめく交流のまち」の実現に向けて、後期基本計画に基づく諸施策を着実に実施しなければなりません。このため、知恵と創意工夫などによって特に優先すべき施策を「選択と集中」により、ス

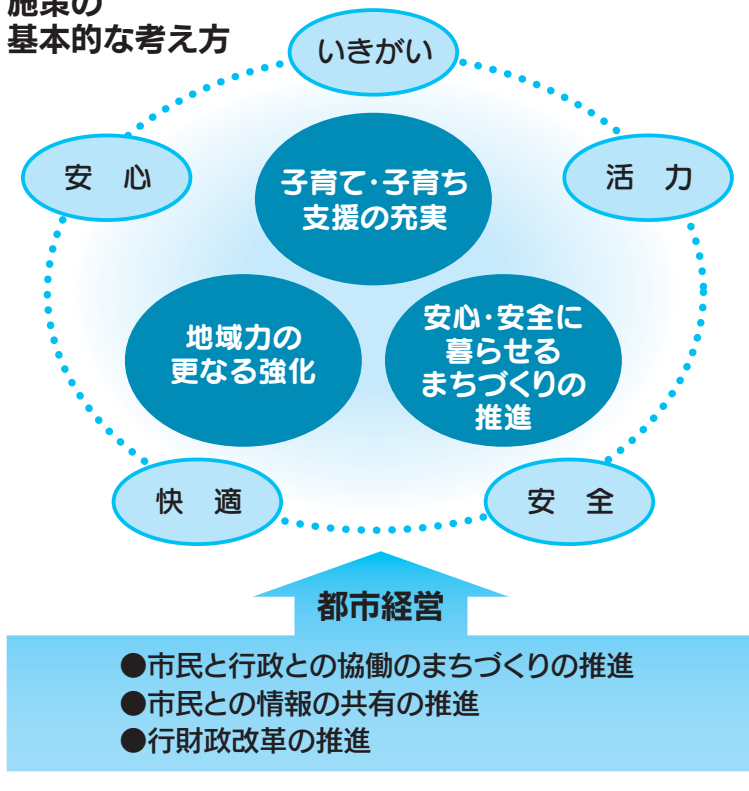
ピード感を持つて実施します。

また、政策の5本柱である「いきがい」「安心」「快適」「安全」「活力」に基づき、戦略的な取組を積極的に展開します。

準通年型予算とは…

平成25年2月に市長選挙が行われるため、市長の政策的判断が必要な事業（政策的経費・臨時的経費の一部）以外の経費で構成する予算の呼称です。

施策の基本的な考え方



お問い合わせ

総務部 財政課(米原庁舎) ☎52-1553 ㊟52-4447
政策調整課 (米原庁舎) ☎52-6626 ㊟52-5195